

市内初の高架

① 牛立鉄橋(庄内東町6丁目)

明治43年(1910)に箕面有馬電気軌道(現阪急電鉄)が開通したとき、沿線は田園地帯で、遠くから電車が走るのが見えたそうです。国道176号と交差するこの場所にはかつて踏切がありましたが、昭和10年(1935)に地元の人たちの要望で高架工事が行われました。高架橋には当時の洋風のデザインが取り入れられています。



再発見してみよ〜

庄内東町

◎牛立の火の見櫓と半鐘

住宅地に静かにたたずむ火の見櫓と半鐘は、戦前に地元の鉄工所が作って寄付したものです。現在は半鐘を打ち鳴らして火事を知らせることはありませんが、自分たちの地域を守ろうというまちの人たちの気概を今に伝えています。



戦争で供出された半鐘は無傷で戻りました

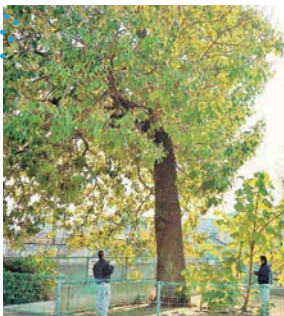
天竺川

2

若木も、すくすく

② 天竺川児童遊園のキリ(庄内東町6丁目)

5月になると薄紫色の花を咲かせるまちの風物詩。約50年前に植えられた2本のうち1本は病気にかかり切ることになった。その後、切り株から若木が芽生え、現在幹まわり24センチメートルで、人の身長2倍ほどの高さに成長しました。対岸近くまで枝を伸ばす大木と肩を並べ花を咲かせる日を待ちたいものです。



まちある記

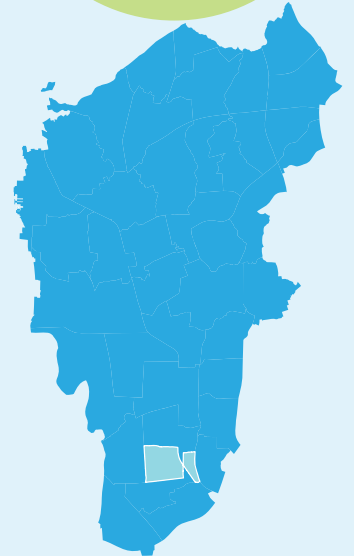
マチカネくんと歩く

第10回

庄内東町から庄内幸町へ

弥生時代ごろの土器が出土したまち

庄内小学校区



防災とバリアフリーのまちづくりをめざして、住宅の建替えや道路の整備が進む庄内。庄内土器ゆかりの地や近代の建築物など、歴史を物語る風景が今も残るこのまちを訪ねてみませんか。

